

中国テレビニュース番組の新しい現象  
— 民生ニュース番組を中心として —

黒 田 勇 ・ 宋 曉 陽

A New Trend of News-Programs in China

Isamu KURODA and Xiao-Yang SONG

**Abstract**

This paper focuses on a recent trend of news-programs in China.

Since 2000, the new type of news programs have developed and got popularity by covering the various events in the people's life.

Key words: China's media, people's news, economic coverage in the metropolitan area

抄 録

2000年に始まった「民生ニュース」は、中国各地の放送局に広がり、各地で高い人気を得て、これまでの「聯播型」ニュース番組中心であった中国の報道番組を大きく変えつつある。市民生活に焦点を当てた報道番組の拡大は中国の放送文化の新しい展開と位置付けることができる。

キーワード：中国メディア、民生ニュース、首都経済報道

最新の「中国テレビニュース番組マーケット報告書」によると、2006年のテレビニュース番組の視聴時間は、一日平均22.8分間で、これは全視聴時間の12.95%を占めている。全国127市県480チャンネル中、27%はニュース番組を中心に放送し、ニュース番組放送時間帯は18時から22時まで、特に、夕方の時間帯のニュース番組は1日の放送の20%以上を占めている。

夕方から夜の放送時間はテレビニュース番組にとってのゴールデンタイムとされている。18時から22時までの短い時間帯の中で、二つのタイプのニュース番組が放送されている。ひとつは「聯播型」というニュース番組、もう一つは「民生型」というニュース番組である。特に、2000年に始まった民生ニュース番組は中国各地で同じ時間帯の娯楽番組として、ドラマより高い視聴率を取っている。この「民生ニュース」の台頭と、各地のテレビ局の現状を紹介する。

## 1. 民生ニュース番組の台頭

### (1) 中国の二つニュース番組タイプ——聯播型と民生型

#### 聯播型

聯播型というニュース番組は中国テレビニュース番組の基本の形として、中央電視台（以下CCTV）が1978年に放送開始し、それがテレビニュース番組の基本の形となった。2008年現在、CCTV総合チャンネルは毎日夕方19時から全国に生放送され、各省テレビ局は毎晩19時から、中央テレビ「新聞聯播」という全国ネット・ニュース番組を流している。

この「新聞聯播」というニュース番組の影響で、各地はいろいろな「××聯播」というニュース番組を立ち上げた、たとえば、「黒龍江新聞聯播」「河北新聞聯播」などである。

聯播型ニュース番組の放送時間は一般的に30分間であり、ストレートニュースとショートニュースを中心に、内容は政府関係の会議・リーダー発言・各地へ仕事の視察・最新政策・外国交流などを中心に取り上げられ、ひとつのニュースは約1分間である。

#### 民生型

2000年江蘇省テレビ局は「南京・距離・zero」というニュース番組を放送し、中国に初めて民生ニュース番組が誕生した。各地のテレビ局では、この「南京・距離・zero」の影響を受けて、自ら色々なアイデアが出され、各地に民生ニュースのブームが起こった。たとえば、浙江省杭州テレビ局「阿六ニュースをしゃべって」、四川省重慶テレビ局「毎日630」、北京テレビ7チャンネル「第7日」など、さまざまな民生ニュース番組が登場し、

現在まで、視聴者の注目を集めており、各地で高い視聴率を取っている。

民生ニュース番組が従来の「联播型」ニュースと大きく異なる点は、市民生活や市民の「人間性」を重視しており、取り上げられるニュースはすべて市民の日常生活に関するものであるという点である。ニュースの取材対象は一般市民であり、ニュース内容は交通事故、火事など最新事件・事故であり、可能な限り生中継されている。つまり、民生ニュース番組は多く場合、社会問題、社会現象であり、例えば、教育、医療、生活情報、政策に対する不満など市民の視点から取材・編集される。

## (2) 民生ニュース番組の現状

### 浙江省杭州市

浙江省テレビ局と杭州市テレビ局の両局は各総合チャンネルで民生ニュース番組を流し、放送時間帯は18時から20時まで、放送時間は約30分間である。浙江省テレビ局の、民生ニュース番組では標準語を話しているが、杭州市テレビ局の民生ニュース番組では杭州地方の方言を堂々と利用し、大人気となった。

杭州地区では、2007年前半、テレビニュース番組のランキング10位中、約半数を民生ニュース番組が占めていた。特に、杭州市テレビ局で作られている民生ニュース番組は平均視聴率でドラマ、娯楽番組よりも高い視聴率を誇り、「私が貴方に言う」という番組の視聴率は、8.04%と第1位、「阿六ニュースをしゃべって」は6.75%で第2位だった。

### 江蘇省南京市

江蘇省は民生ニュースの第一弾「南京・距離・zero」の誕生地であり、南京市地区はテレビ民生ニュース戦争といわれる状況に陥った。2008年現在、民生ニュース番組に関して、江蘇省テレビ局が4番組、南京市テレビ局は2番組を放送している。放送時間帯は夕方18時から20時までに集中し、番組の特徴としては大型化、ワイド化が上げられ、放送時間は1時間あるいは1時間30分間である。南京では、方言を使う民生ニュース番組はない。

## (3) 联播型ニュース番組と民生型ニュース番組の比較

項目	联播型ニュース番組	民生型ニュース番組
放送時間帯	夕方18時—19時の間	18時から22時まで
ニュース内容	会議、リーダー視察、政策宣伝など	事件・事故、市民生活情報など
ニュースキャスター	男女ペア	自由

番組の名称	××新聞聯播	<第一時間><現場中継><首都経済報道> <南京・距離・zero><毎日630>
番組構成	ストレートニュース、ショ ートニュース	ストレートニュース、コメント、現場中継、新 聞を読むコーナー、スタジオでインタビュー、 特番など
社会影響	政策宣伝のために	番組のブログ、団地イベントなど

## 2. 北京テレビ局経済チャンネル看板番組——<首都経済報道>

つぎに、北京における民生ニュース「首都経済報道」の展開について触れたい。

### (1) 番組の概要

#### ◆番組の歴史

1998年5月4日に「首都経済報道」はスタートし、その当時は、北京テレビ局社内では、唯一の経済に関する情報番組である。

2003年1月1日、この番組は北京テレビ局経済チャンネルにおいてレギュラー化された。

2004年2月15日、「首都経済報道」は初めて組み直されて、高潮東と姚長盛がキャスターとして番組に登場した。

2005年5月15日、番組は従来の収録から生放送に変更された変わった。

2007年1月1日、番組は再び組み直されて、新しい三つのコーナーが設置され、放送時間は30分から50分に延長、公共な表現するプラットフォームを立ち上げている。

#### ◆番組構成

「今日注目」「ニュース」「麻辣京腔」の三つである。

◆放送時間帯 毎日 初放送 19:10-20:00

再放送(翌日) 11:10-12:00

2008年1月1日 19:00-19:50

◆視聴者:男性、25歳-40歳、ある程度の消費力を持つ

◆CM:車、ブランド酒、不動産、男性用品など。

◆CMの商売:セット式——CMは番組を契約すれば、同じチャンネルほかの番組で無料放送。

◆視聴率表

中国テレビニュース番組の新しい現象（黒田・宋）

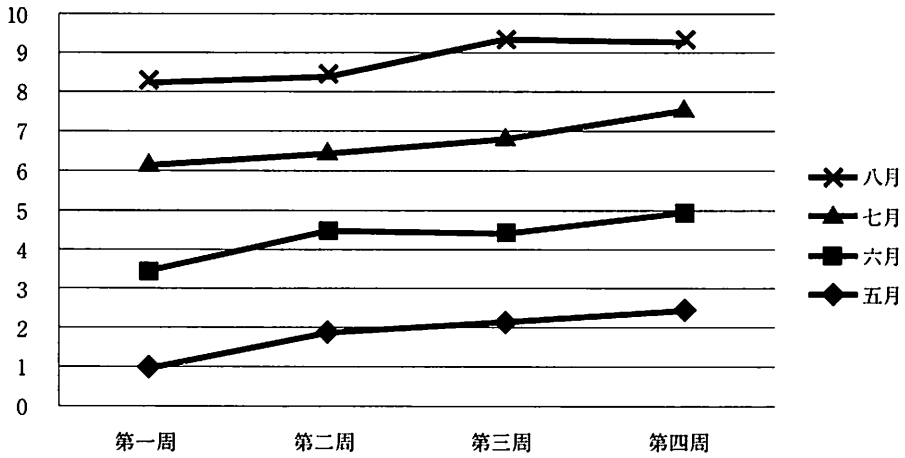


図1 〈首都経済報道〉2007年5月—8月の視聴率

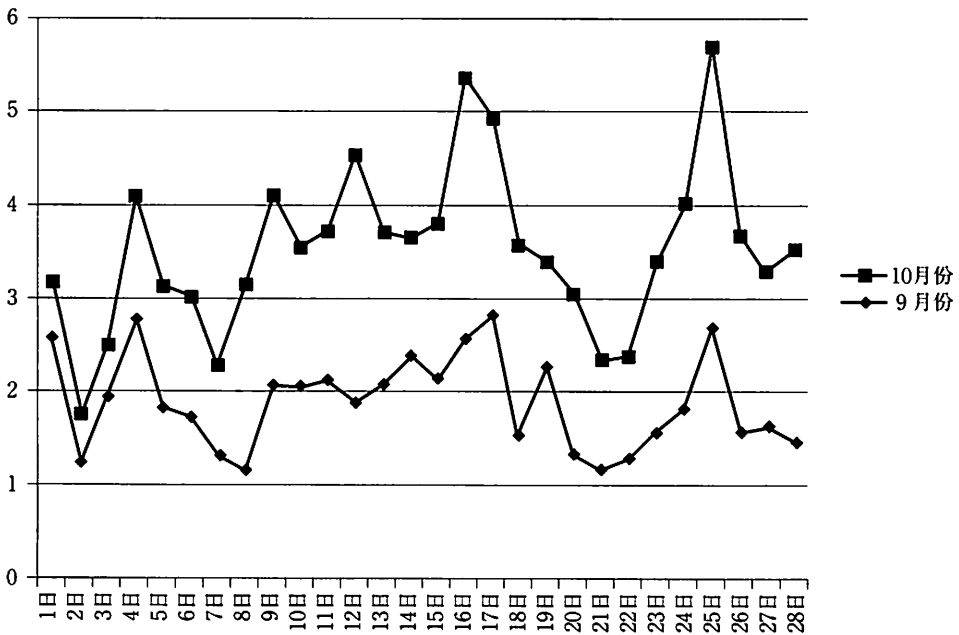


図2 〈首都経済報道〉2007年9月、10月視聴率（日別変化）

※以上視聴率調査データは、北京テレビ局の「首都経済報道」という番組制作部提供の資料より作成した。

(2) 番組の特徴

◆トークショーニュース番組

中国の通常のニュース番組の中では、キャスターはニュースを読む、つまりは、タイム

キーパーというイメージを視聴者に印象を与えてきた。しかし、「首都経済報道」番組のキャスターたちは従来のキャスターの役割とは違い、ただ、ニュースを読むのではなく、コメントを加えて、トークショーの手法を初めてニュース番組に導入した。キャスターたちがリラックスした雰囲気の中でニュースを話す、という映像が放送されている。トークショーという手法は番組のポイントであり、世間話をしている印象を視聴者に与えている。

現在、中国のラジオ番組ではトークショーの手法が一般的であり、テレビにおいても娯楽番組では多用されているが、ニュース番組ではこれまで全く使われてこなかった。

#### ◆キャスター

**高潮東**：北京人、1995年から北京ラジオ局交通チャンネルのキャスターを勤め、2004年初めてテレビニュース番組を挑戦し、現在、「首都経済報道」と「私の2008」（オリンピック）二つ番組を出演している。90年代以後、北京はマイカー時代に入り、北京ラジオ局交通チャンネルの視聴者は増加したことにより、生放送の交通情報番組はニーズが多く、交通チャンネルのキャスターたちは北京地区で大人気になった。高潮東はラジオ番組の話をテレビニュース番組に導入し、いかに述べる姚長盛とペアで活躍している。

**姚長盛**：37歳、1997年中国伝媒大学院生卒業、北京テレビ局ニュースセンターに入社。「今日話題」というニュース報道番組の記者として三年間を経て、2000年から「国際双行線」というインタビュー番組、キャスターの役割を果たし、カメラの前でいろいろな人物をインタビューし、徐々に人気を集めた。2004年彼と高潮東はペアで、新しいイメージを視聴者に持たれている。いま、「首都経済報道」と「北京議事ホーム」（医療、教育、市民生活に関する政策を討論番組）二つ番組に出演している。

現在、中国テレビ業界の中では、キャスターの容姿が重視されているが、高潮東と姚長盛ふたりのイメージは「隣家のお兄ちゃん」、「息子」などという愛称が、視聴者によってつけられた。特に、二人は話し方、衣服など、他のニュースキャスターのイメージとは全く異なっている。そして、二人が「都経済報道」番組キャスターを勤めて以来、番組は急速に様変わりすることになった。視聴率は4倍も増え、番組のプログも人気を集めることとなり、放送時間は30分から50分に延長されたのである。

#### ◆スターの相乗効果

平日は高潮東と姚長盛が二人ペアで出演し、土曜日番組のテーマは「うちの家」、不動

産という話題を中心として、日曜日には「車」というテーマを中心にとりあげている。そして、毎週土曜日と日曜日はほかの番組のキャスターと共に、「首都経済報道」に出演している。

#### ◆ニュース報道とショートメッセージの魅力

「首都経済報道」について、他のニュース報道にはないもうひとつの特徴としてキャスターと視聴者のコミュニケーションを重視している点が上げられる。番組のオープニングの時に、キャスターはその日の討論テーマを発表している。最近の討論テーマは「私のボース」、「オフィスの耳寄りな話題」、「お正月の映画」、「90年代生まれた人々」、「子ども時代のこと」、「就職」、「バス」、「鍋料理」、「私の初任給」、「私の小学校の先生」などである。番組で一番面白いとされているのは、生放送の特性を生かし、番組を見ている視聴者から送られてきたメールのメッセージをキャスターが読みあげ、少しコメントを入れることである。これによって、キャスターと視聴者の間に擬似的な双方向の関係が生まれ、さらにそのことによって視聴者にキャスターの人間性を強く表現できる点が魅力とされている。

この場合、視聴者はケータイを使いショートメッセージを番組に送る。ショートメッセージの内容は当日の討論テーマや、報道されたニュース、最近社会現象・話題などであり、視聴者のさまざまなメッセージが番組に流されている。

#### ◆番組ブログの作用

番組のブログはとても人気があり、ファンたちは毎日温かい言葉を書きこんでいる。キャスターについてだけではなく、ニュースや、話題など、いろいろな感想を自由に表現している。

[blog://blog.sina.com.cn/m/sdjibd](http://blog.sina.com.cn/m/sdjibd)

[web://www.btv5bbr.com](http://www.btv5bbr.com)

#### ◆公共事業に対する高い関心

この「公共事業」とは、日本で言う政府や自治体が行う土木工事などではなく、たとえば、木を植える、鳥を愛する、ノーマイカーデーなどのイベントをさすが、この番組は「公共事業」に大変熱心であり、様々なイベントを開催している。

2008年秋には、「古い団地、新しい緑」環境保護というイベントがあり、「首都経済報道」、北京遠洋不動産会社、北京ボランティア協会が共催している。北京遠洋不動産会社はこの

事業の中心的な団体であり、事業資金を提供しているが、この企業は、古い団地の生活環境を改善し、住民の環境保護意識を養成したいという要望を表明している。

### 3. 民生ニュース番組の問題点

#### (1) ニュースの同一化

2008年現在、江蘇省南京市地区で、民生ニュース番組は江蘇省テレビ局4本、南京テレビ局は2本、合計6本であり、競争は厳しい。ニュース番組内容の重複度は、50%から70%程度と非常に高くなっている。ニュースの取材のために、テレビニュース記者は病院、鉄道駅、南京大橋—特に南京市有名な橋—で待っているということもある。

#### (2) 段ボール肉まんからの影響

2007年7月北京テレビ局生活チャンネルの『透明度』というニュース番組（毎週一回）が「段ボール豚まん」という捏造情報を流した。この事件に関しては、日本でも大きな関心を集めたが、それはもっぱら中国の食品問題、「捏造」問題として語られ、さらに中国のニュース報道のあり方の問題として語られた。しかし、実際には、中国での「食品偽装」問題に対して中国国民化の関心が高まっていたからこそその捏造報道であったが、日本社会と同様のそうした中国社会の背景に関心を向けるメディアは少なかった。

この事件は、中国テレビメディア業界に大きな影響を与え、たとえば、「首都経済報道」は生放送が臨時禁止とされ、その後2007年10月29日に、生放送として再開している。

### 4. まとめ

中国はまだ、「テレビ報道の時代」とは言えない。ある意味で、メディア・イベントという段階である。中国テレビ放送史の中で、初めての生で放送された番組は1997年の中央テレビ局による「香港復帰72時間スペシャル番組」であり、それから10年間、生放送番組は、メディア・イベントを中心とし、突発的に発生した事件や事故に対する特番報道は少ない。2001年アメリカ同時テロ事件についても中央テレビ局は一切報道しなかった。これに対しては、研究者、視聴者からの批判が非常に厳しく、その後2003年3月20日イラク戦争時に、中央テレビ局はこのニュースを長時間生で放送し、視聴率は高騰した。

民生ニュース番組は誕生してから8年間、この新しいニュースジャンルは中国テレビ業界に大きな影響を与えた。これから、中国テレビニュース報道番組はどこへ向かうのか、まだ明確な方向が見えていないわけではない。しかし、北京オリンピックを契機として生ま



れた取材規制なしの報道の継続など、海外メディアから、今後の方向は注目されている。

また、2008年5月12日に、中国四川省汶川で大震災が起った。その地震発生と同時に、中国中央テレビ局ニュースセンターは緊急報道規制に動き始め、CCTVニュース専門チャンネルでは特番が放送された。5月12日当夜19時30分以後、CCTVニュース専門チャンネルの視聴率は平日の8倍になった。その後、全国中の50地方テレビ局により結成した「中国テレビ報道中継同盟」という組織が2008年12月21日に成立した。この組織は、将来の各地方テレビ局の報道番組制作に大きな影響を与えるようになる可能性を持つ。

—2008.12.25受稿—